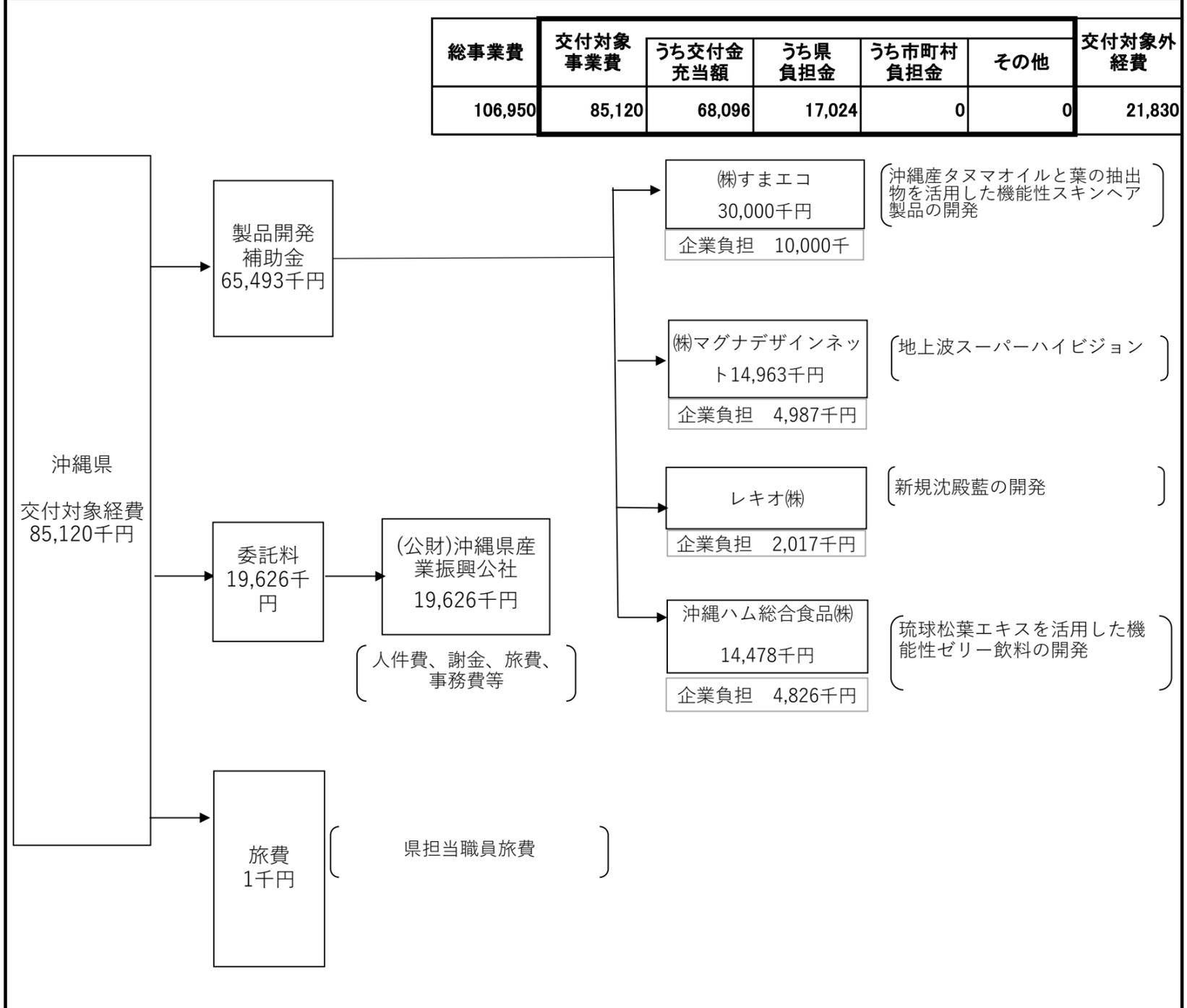


令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	125	産学官連携製品開発支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-ア			
担当部課名	商工労働部ものづくり振興課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の戦略的展開 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	県内ものづくり産業の競争力強化のため、県内企業を中心とした産学官等連携の製品開発プロジェクトに対し、補助を行うとともに、円滑な事業化に向けて適宜事業者毎に必要なハンズオン支援を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算の状況		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度
		(a) 当初予算額	153,758		167,222		88,000
		(b) 予算現額	153,758		167,222		88,000
		(c) 増減額(b-a)	0		0		0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
	A. 計(b+d)		153,758		167,222		88,000
	B. 執行済額		151,877		155,097		85,120
	うち交付金充当額		121,502		124,077		68,096
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		98.8%		92.7%		96.7%
予算の状況の説明		執行率は96.7%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R2活動目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	県内ものづくり企業、大学、試験研究機関等の製品開発プロジェクト等に対し補助を行う		目標	3件	3件	6件	4件
			実績	6件	6件	5件	4件
	プロジェクト実施者へのハンズオン支援(プロジェクト進捗管理や、財務やマーケティングに関する助言等)を実施する		目標	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施
		実績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
進捗状況説明		・昨年度からの継続1件と新規公募による3件、合計4件の製品開発プロジェクトを補助した。 ・補助事業について、財務やマーケティング等に関し高い知見を有する専門コーディネーターによるハンズオン支援を行った。					
成果目標(指標)及び達成状況	R2成果目標(指標)		基準値(H24年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	製品開発プロジェクト支援数		目標	3件	6件	4件	3件
			実績	6件	5件	4件	-
	【R3成果目標】製品開発プロジェクトの事業化		目標				3件
達成状況説明		①製品開発プロジェクトの支援について、昨年度からの継続1件と新規公募による3件、合計4件の製品開発プロジェクトを補助し、目標を達成した。 ②H24~R2実施のプロジェクト31件の内、17件で事業化に至っている。(R2年度終了時点、フォローアップ調査による)					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①新規補助事業の交付決定の時期が遅れると各事業の進捗に支障が生じることがある。 ②これまでの事業について、支援効果の確認が必要である。	①新規補助事業の採択において、プロジェクトの進捗に支障が生じないよう、スケジュールを県と委託業者で、より密に調整する必要がある。 ②各プロジェクトの現状把握と、フォローアップによる事業化の促進を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
①令和3年度が最終年度であり、事業総括を行う必要があること、これまで採択した企業へのスムーズなハンズオン支援による事業化促進目的等から、委託事業については令和元年より2年間のプロポーザル契約を締結してきた沖縄県産業振興公社と随意契約を行い、補助事業についても事業者が十分に実施できるよう速やかな交付に務める。 ②これまで終了したプロジェクトについて、現状を調査するとともに各プロジェクトへのフォローアップ支援等を通して事業化を促進し、事業総括としてまとめる。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、本事業及び委託業務の目的等に照らして、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○前年度の実績や事業内容等を参考に設定しており、受益者との負担関係は妥当であった。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

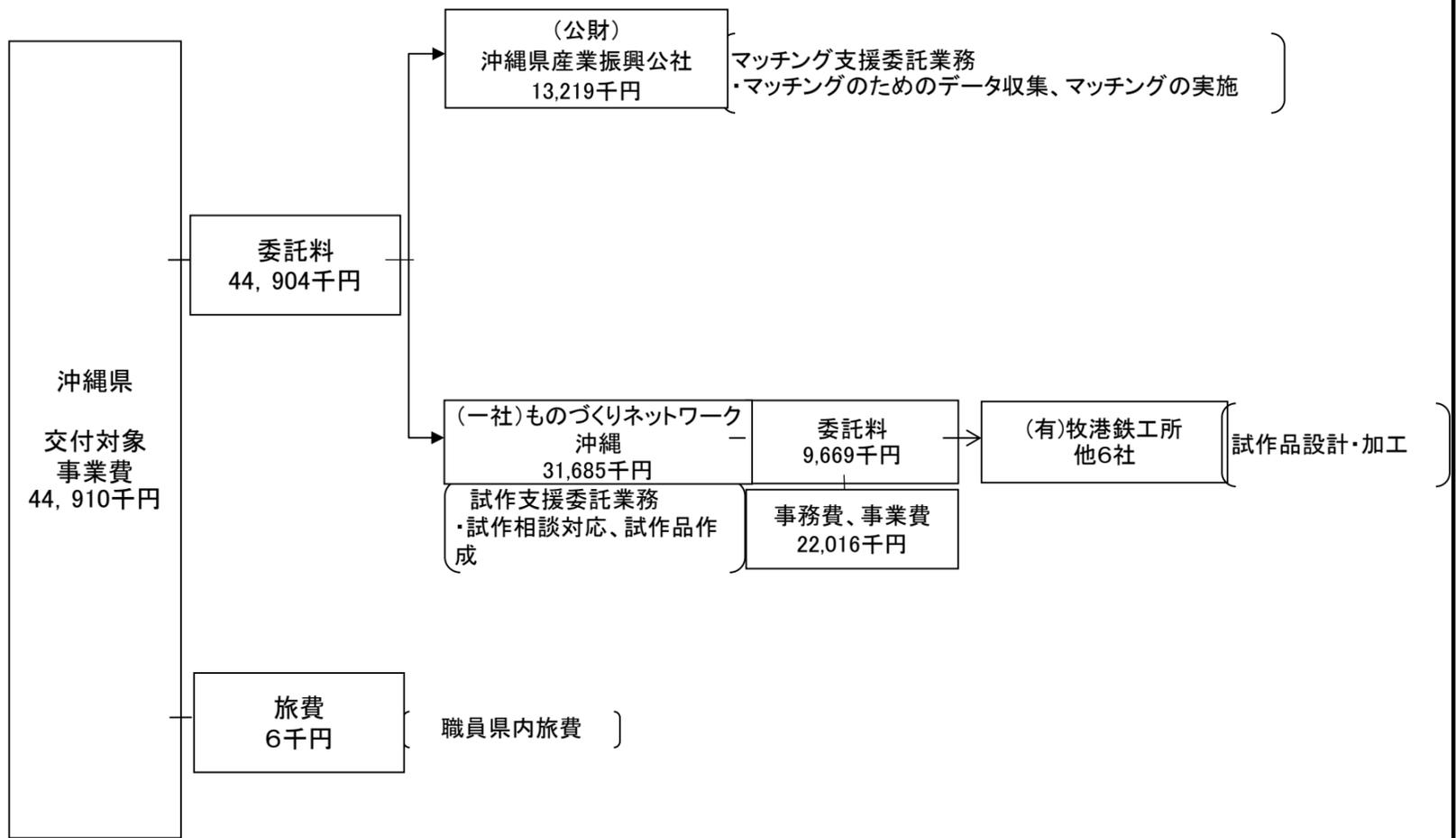
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	127	製造業県内発注促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-ア			
担当部課名	商工労働部ものづくり振興課	事業実施(予定)年度	H28 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の戦略的展開 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	県内企業から県内製造業への発注を促進するため、県内製造業の情報収集およびマッチング支援と、試作に関する支援を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算の状況		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度
		(a) 当初予算額	57,565		60,011		47,410
		(b) 予算現額	57,565		60,011		47,410
		(c) 増減額(b-a)	0		0		0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
	A. 計(b+d)		57,565		60,011		47,410
	B. 執行済額		52,971		59,221		44,910
	うち交付金充当額		42,376		47,376		35,928
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		92.0%		98.7%		94.7%
予算の状況の説明		・マッチング支援および試作に関する支援は、それぞれ委託料に実施している。 ・執行率は94.7%であり、主に委託料の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	① マッチング支援 県内受注企業の情報収集しマッチングを促すためのコーディネーターの設置、データベースの構築、マッチング先紹介のHP作成	目標	マッチングのためのデータ収集	マッチングのためのデータ収集	マッチングのためのデータ収集	マッチング件数(20件)	
		実績	データ収集件数(125件)	データ収集件数(240件)	データ収集件数(412件)	マッチング件数(43件)	
	② 試作支援 県内企業からの試作品の試作依頼を受け付け、県内のものづくり企業に作成を委託する。試作品作成実績を作ることで、受注促進を図る。	目標		試作件数:5件	試作件数:6件	試作件数:6件	
実績			試作件数:4件	試作件数:7件	試作件数:6件		
進捗状況説明	・県内製造事業者を訪問して当該事業の紹介を行うとともに、県外発注の有無や、加工に必要な機械設備や製造ノウハウ等に関する情報の収集を、沖縄県産業振興公社へ業務委託する形で実施した。 ・当該事業の周知に係る取組として、チラシ、ホームページ、ガイドブックの作成等、広報媒体を活用した情報発信も委託業務の1つとして行った。 ・県内製造業者への発注を前提とした試作に関する支援6件を、(一社)ものづくりネットワーク沖縄に委託し、実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(H28年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	マッチングによる新規県内取引の成約件数	目標		5件	5件	8件	
		実績		6件	10件	6件	
	試作支援後の実用化件数	目標		3件	4件	4件	
		実績		3件	6件	4件	
達成状況説明	・「沖縄の製造業ガイドブック」を作成し、100社の概要を掲載した。当該ガイドブックも活用しながら、43件のマッチングに対し、6件の成約があった。目標の8件に届かなかったのは、新型コロナウイルス感染症の影響で、「不要・不急」の外出が制限されたことなどで、当該事業の活動が行えなかったことなどが理由である。 ・試作支援は6件を実施し、実用化に至ったのは4件であった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数は増えたが、新型コロナ禍の影響などによりマッチングの件数伸びなかった。また、マッチング支援では、成約までに時間がかかるものや、企業間での独自の取引が進んだことにより、成果の把握が難しくなっている。 試作支援については、支援企業のさらなる受発注の促進をする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> マッチング成果の把握については、作成したガイドブックに掲載されている企業を中心に、聞き取りなどで把握する必要がある。 試作支援については、支援企業の受発注を促進するため、更なる成果のアピール等により、幅広い産業への周知が必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査なども検討し、成果の把握とマッチング後のフォローアップを強化する。 これまでの成果について、報告会の開催や事例集等の配布等を検討し、広く企業へ周知することで、更に幅広い産業との連携および受発注の促進を行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
44,910	44,910	35,928	8,982	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、企画提案プロポーザルなど事業の内容によって選定したため、妥当であったと考える。 ○費目・使途については、事業報告書等进行检查し、適正である事を確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

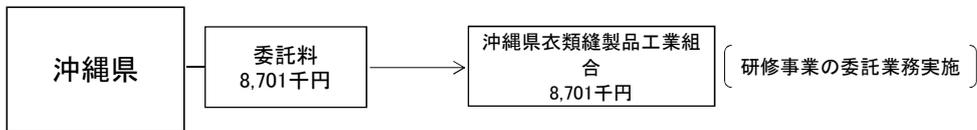
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	128 沖縄県縫製業経営高度化推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-ア				
担当部署名	商工労働部ものづくり振興課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の戦略的展開		
事業内容	①経営マネジメント研修及びアパレルマーケティング等研修を実施 ②県外において、かりゆしウェア普及促進イベントを開催し、県外展開に向けたPRを行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	20,505		20,505		16,557
		(b) 予算現額	20,505		20,505		16,557
		(c) 増減額(b-a)	0		0		0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	20,505		20,505		16,557
	B. 執行済額		17,559		18,319		8,701
	うち交付金充当額		14,047		14,655		6,961
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		85.6%		89.3%		52.6%
予算の状況の説明		・県内縫製事業者の経営改善を行い、新たな販路を開拓できる事業者の育成を図るため、平成30年度から新規事業(平成24~26年度:沖縄県縫製業新展開推進事業、平成27~平成29年度:沖縄県縫製業安定基盤構築事業の後継事業)として、経営マネジメントやアパレルマーケティング等の専門家を派遣した研修及びかりゆしウェア着用普及促進を目的としたPRイベントを実施するための経費として委託料等を計上した。 ・執行率は52.6%であり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのPRイベント中止等による委託料の未執行によるものである。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R2活動目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	縫製事業者の経営マネジメント等研修の実施	目標		35回	35回	18回	
		実績		35回	30回	18回	
	県外におけるかりゆしウェア普及促進のイベント開催	目標		1回	1回	1回	
		実績		1回	1回	0回	
進捗状況説明	・経営高度化研修の開催実績18回(設備研修2回、素材・材料検討研修4回、試作品開発研修3回、試作品評価検討研修4回、試作品プレゼンテーション研修3回、経営マネジメント研修2回) ・県外かりゆしウェアPRイベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R2成果目標(指標)		基準値(H30年度)	基準値(H30年度)	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	県内縫製品の県外販路開拓に役立ったか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証	目標	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	
		実績	94.2%	94.2%	93.9%	94.4%	
	県外イベントにおける来場者数	目標	6,400人	6,400人	6,400人	6,400人	
		実績	6,876人	6,876人	5,200人	0人	
	達成状況説明	・県内縫製品の県外販路開拓に役に立ったかの目標値80%に対して、実績値94.4%と達成している。 ・県外イベントにおける来場者数については、実績が0人で未達成となっている。達成できなかった理由は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止したことによるものである。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・研修事業において、受講する縫製事業者の経営体力にばらつきがあり、研修内容を効果的に事業へ反映させるためには、それぞれの状況に合わせた工夫が必要となる。 ・かりゆしウェアの県内市場が飽和状況になりつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場ニーズの洗い出しから、縫製事業者が各自の経営資源や体制を基に、どのニーズに対応していくか、これまでの研修を踏まえた経営戦略を構築する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・縫製事業者が自らの強みと弱みの分析を基に、EC等の活用などの販売経路の工夫や高付加価値商品の企画など、アウトプット型研修から実践の取り組み(商品開発ノウハウの取得)へ移行する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先				交付対象外経費
		うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
8,701	8,701	6,961	1,740	0	0	0



資金の流れ、費目、使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は公募型プロポーザル方式により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○費用・使途については、事業目的達成の観点から、必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

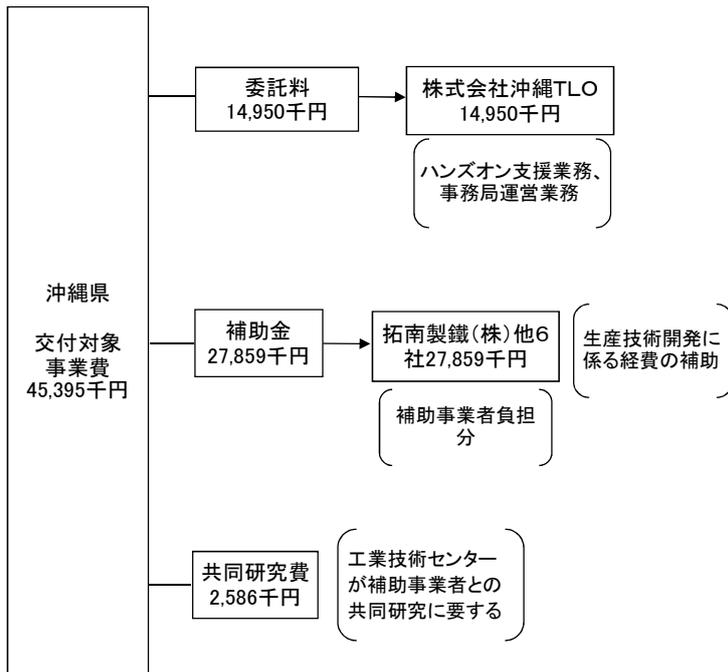
事業番号・事業名	129	沖縄サポーターティング産業高度化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-ア		
担当部署名	商工労働部ものづくり振興課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	県内ものづくりの生産性向上を図るため、県内企業の生産技術開発等を支援するとともに、県内製造業へ生産技術等の普及を実施する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R4年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	147,948		71,025		35,400
		(b) 予算現額	147,948		71,025		49,631
		(c) 増減額(b-a)	0		0		14,231
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	147,948		71,025		49,631
	B. 執行済額		131,482		61,271		45,395
	うち交付金充当額		105,185		49,017		36,316
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		88.9%		86.3%		91.5%
予算の状況の説明		・コロナウイルス感染症の影響による売り上げの落ち込みにより、県内製造業の生産性改善に向けた取り組みの重要性が高まったことから、補助件数の拡充を行うため増額補正を行った。 ・執行率は91.5%であり、主に補助事業の実績確定により生じた補助金の未執行額である。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R2活動目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	(ものづくり基盤技術強化支援事業)技術開発採択案件	目標	5件	3件	4件		
		実績	6件	5件	5件		
	(ものづくり生産性向上支援事業)企業提案による生産技術開発	目標				5件	
		実績				7件	
進捗状況説明	(ものづくり基盤技術強化支援事業) ・県内企業による基盤技術導入に係る開発案件について、開発テーマを公募および実施し、目標値を達成した。 (ものづくり生産性向上支援事業) ・ものづくり基盤技術強化支援事業等の取り組みによって、県内製造業への基盤技術導入に一定の成果が得られたため、R2年度からは生産性に着目した取り組みを実施。 ・県内企業による生産性向上に係る生産技術開発について、開発テーマを公募および実施し、目標値を達成した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R2成果目標(指標)		基準値(H24年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	(ものづくり基盤技術強化支援事業)①導入検証ステージにおける試作機製作/新技術導入に向けた仕様の決定②実用評価ステージ終了後の実用化	目標		導入:2件 実用:1件	実用:3件		
		実績		導入:2件 実用:3件	実用:3件		
	(ものづくり生産性向上支援事業)①生産技術開発の実施	目標				3件	
		実績				3件	
	【R4成果目標】(ものづくり生産性向上支援事業)実施テーマが3%以上の生産性向上目標達成		目標				3件
	【R4成果目標】(ものづくり生産性向上支援事業)生産性向上に係る技術の成果普及		目標				6件
達成状況説明	(ものづくり基盤技術強化支援事業) ・令和元年度までに実用評価ステージまで実施した21テーマの内17テーマが実用化に至っており、目標を達成している。 (ものづくり生産性向上支援事業) ・生産技術開発テーマを7件実施し、そのうち4件が令和3年度までの継続、3件が令和2年度で完了であり、目標を達成している。 ・完了したテーマについては、実際の生産活動をとおして、R4年度までに生産性向上効果の確認を行う。 ・すべてのテーマで工業技術センターとの共同研究を実施しており、完了したテーマについて、R4年度までに成果の普及を行う。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 生産技術開発後には、成果の定着や改善に向けた取り組み等を継続的に行う必要がある。 成果の普及については、共同研究先の企業秘密に抵触しないよう留意する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 完了したテーマについては、成果の改善や定着を図るため、フォローを行う必要がある。 成果の普及のため、普及可能な技術の抽出や、汎用性の向上などのブラッシュアップが必要である。
	今後の取り組み方針	
	<ul style="list-style-type: none"> 他機関や他事業との連携を図ることで、事業後の展開についても、切れ目のない支援を実施する。 工業技術センターの技術支援業務などを通して、普及に向けた成果のブラッシュアップおよび普及活動を実施する。 	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
57,813	45,395	36,316	9,079	0	0	12,418

(ものづくり生産性向上支援事業)

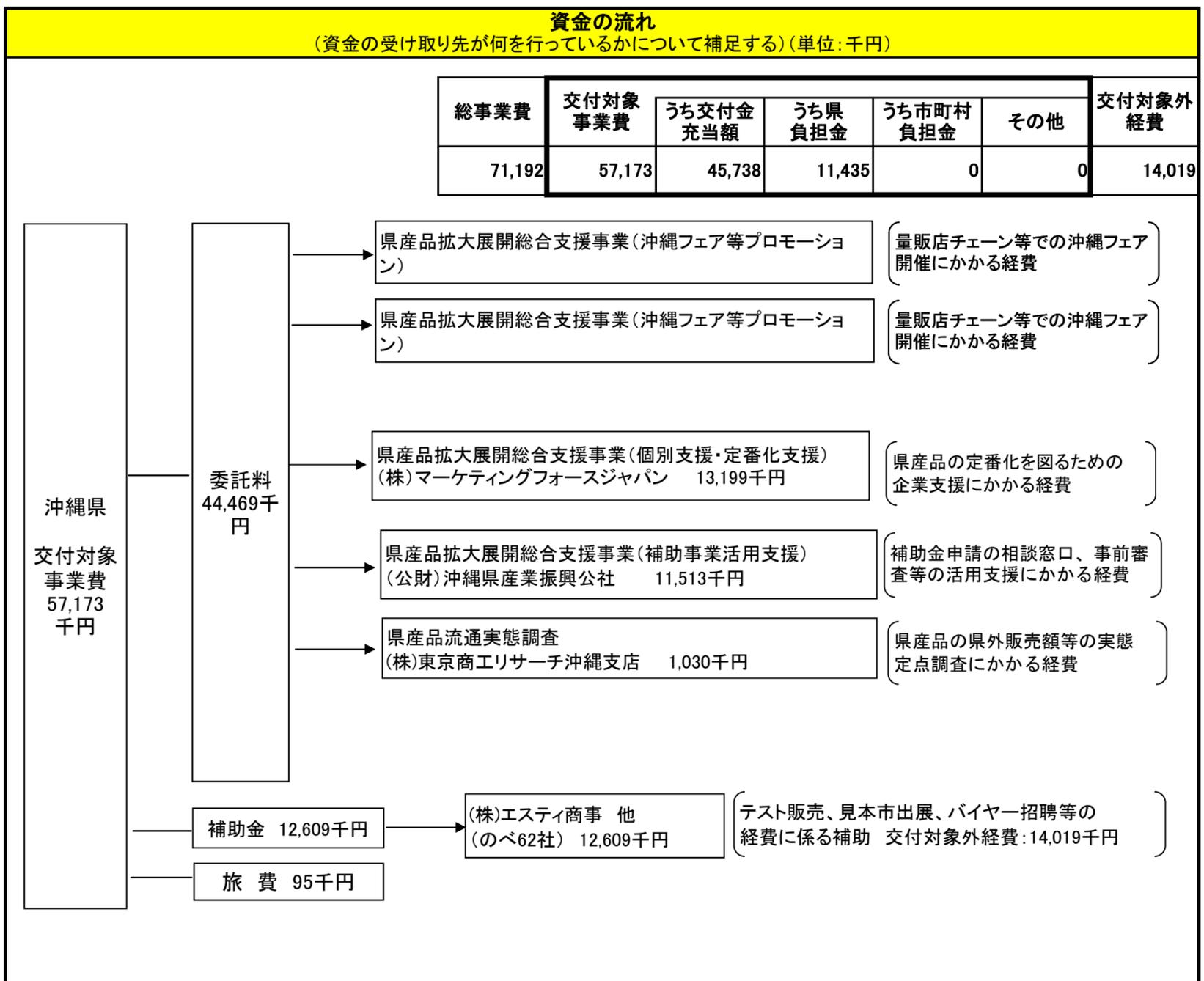


評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・使途の点検評価	○ 支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により実施体制、実績、知見等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○補助事業者は、総事業費の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○ 受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等を額の確定時に支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	118	県産品拡大展開総合支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ			
担当部課名	商工労働部マーケティング戦略推進課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(3)		
事業内容	県産品の県外への販路拡大を図るため、プロモーション事業、県外のニーズに合った商品開発支援やビジネスマッチング、マーケティング専門アドバイザー等の設置による県内事業者への指導・助言等の総合的な支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算の状況	(a) 当初予算額	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度
		(b) 予算現額	132,849		132,848		84,542
		(c) 増減額(b-a)	132,849		132,848		80,382
		(d) 前年度繰越額	0		0		▲ 4,160
		A. 計(b+d)	0		0		0
	B. 執行済額		132,849		132,848		80,382
	うち交付金充当額		124,794		119,219		57,173
	C. 次年度繰越額		99,836		95,375		45,738
	執行率(%) (B/A)		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		93.9%		89.7%		71.1%
予算の状況の説明		補助件数が微減し、尚且つ補助事業者が経費を節減する等補助金の額が想定より低額であったこと等により、不用額(13,629千円)が生じた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R2活動目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	沖縄フェア開催	目標	8回	13回	15回	13回	
		実績	32回	32回	45回	43回	
	専門アドバイザーによる支援件数	目標	5件	5件	5件	4件	
		実績	10件	5件	5件	4件	
	県外販路拡大に関する支援件数	目標	100件	100件	120件	100件	
実績		198件	200件	191件	62件		
進捗状況説明	・沖縄フェア開催については、前年度と同数の43回の沖縄フェアを実施し、目標値を達成した。 ・企業に対する補助件数については、新型コロナウイルス感染症の影響により商談会や見本市等が中止になったことから、目標を大きく下回る実績となり、目標達成にいたらなかった。						
成果目標(指標)及び達成状況	R2成果目標(指標)		基準値(H24年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	県内主要50社(飲食料品)の県外販売額	目標	-	241億円	262億円	267億円	
		実績	207億円	257億円	255億円	254億円(概算)	
達成状況説明	沖縄フェア等のプロモーションの実施、見本市への出展及び民間事業者の販路拡大の取組について支援を行い、県内主要50社(飲食料品)の県外販売額は、254億円(概算)となり、目標を13億円下回った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①県外への販路拡大を推進するためには、生産側の視点だけでなく、市場(消費者、卸売業者、小売店等)のニーズを把握し、ニーズに合った商品開発が求められるが、県内企業の多くは零細で、マーケティング力が脆弱である。 ②入域観光客数の増加や沖縄フェア、物産展等の開催実績から県産品の認知度は向上しているものと推さされるが、県外量販店で定番化している県産品は依然として少ない。	①市場のニーズに応じた商品開発を支援するとともに、フェア開催後や商品開発後の支援を検討する必要がある。 ②県産品の県外での販路拡大を図るためには、県外量販店での定番化を促進する必要がある。
今後の取り組み方針		
①引き続き、マーケティング・商品開発の専門アドバイザーを設置するなど、県内メーカーの商品開発の支援をおこない、商品開発後の県外量販店とのマッチングの強化を図る。 ②県外消費者に対し更なる県産品の認知度向上を図るとともに、フェア終了後、県外量販店に対して定番化に向けた商談や提案を実施する。		



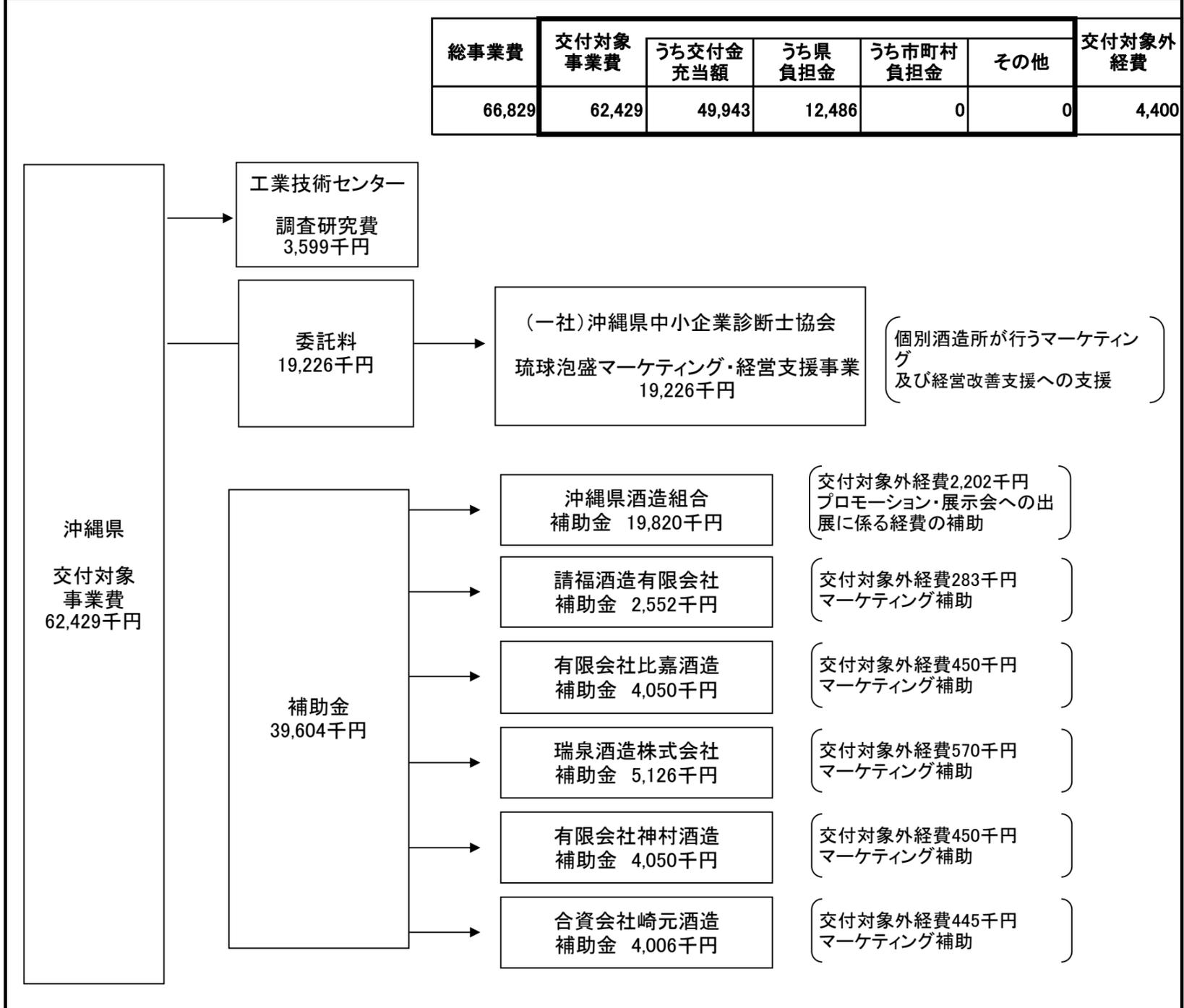
評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・	○ 支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、競争になじむ性質のものについては公募型プロポーザル方式により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であった。
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○競争になじまないとして、一部委託事業について随意契約を行ったが、当該契約相手は、「地域の商工会や経済団体とのネットワークを有している」、「公益法人であり、公正・中立的な機関である」などの理由の整理に加え、関係法令も遵守した契約であり、妥当であった。
	○ 受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、必要額の確定時において、事業目的の達成と適正な執行という観点から支出等に関する書類をチェックし、問題なく執行されていることを確認した。
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	126	琉球泡盛再興プロジェクト支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ			
担当部課名	商工労働部	ものづくり振興課	事業実施(予定)年度	H30 ~ R2 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成 Ⅲ-1-(7)	
事業内容	泡盛業界の成長戦略を支援し、県経済に寄与する移住型産業として成長させるため、多角的な取り組みを行い、県外展開を強化する。また、沖縄県内の泡盛酒造所を取り巻く厳しい環境を考慮し、主体的に経営改善に取り組む酒造所を対象に、経営専門家を派遣し、指導、助言を行うことで、経営改善の促進を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度以降)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算の状況		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度
		(a) 当初予算額	78,199		82,735		64,200
		(b) 予算現額	78,199		82,735		64,200
		(c) 増減額(b-a)	0		0		0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	78,199		82,735		64,200
		B. 執行済額	76,689		79,917		62,429
		うち交付金充当額	61,351		63,934		49,943
		C. 次年度繰越額	0		0		0
		執行率(%) (B/A)	98.1%		96.6%		97.2%
予算の状況の説明	概ね執行できた。						
活動目標(指標)及び進捗状況	R2活動目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	調査研究の実施 ライブラリーの拡充(15サンプル)	目標		実施	実施	15	
		実績		実施	実施	15	
	個別酒造所へのマーケティング支援及び前年度採択企業へのフォローアップ支援	目標		5	5	10	
		実績		5	5	10	
	個別酒造所への経営改革支援及び前年度に支援した酒造所に対するフォローアップ支援	目標		5	3	5	
実績			5	3	4		
進捗説明	ライブラリーのサンプル拡充及びマーケティング支援は、目標達成できたが、経営改革支援については、希望者が1者だけであったため、未達成となった。						
成果目標(指標)及び達成状況	R2成果目標(指標)		基準値(H30年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	研究成果を活かした製品開発支援 3件以上	目標			3	3	
		実績			1	3	
	泡盛県外出荷数量(3,000kl)	目標	3,000kl	3,000kl	3,000kl	3,000kl	
		実績	2,787kl	2,787kl	2,772kl	2,675kl	
	令和元年度に経営支援を行った酒造所の1年経過後の営業利益率向上	目標			2.1	2.1	
		実績			-1.0	-1.2	
【R3年度成果目標】 ①研究成果を活かした製品開発支援 ②泡盛県外出荷数量 ③泡盛マーケティング戦略の策定	目標					①3件以上 ②2,800kl ③泡盛マーケティング戦略の策定	
達成状況説明	・整備した泡盛ライブラリーを活用した製品開発支援は、3件で目標を達成できた。 ・泡盛の出荷数量については、未達成。全国的にも酒類の消費数量は減少傾向にある中で、若者のアルコール離れによる消費量の減少や消費者嗜好の多様化による他酒類との競争激化等、泡盛の出荷数量は県内・県外とも減少傾向にあり、目標値の達成ができなかった。 ・新型コロナウイルス感染症による影響で取引飲食店の営業自粛や海外との取引停止など、厳しい経営環境となり、営業利益率の向上は未達成となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や若者のアルコール離れ等により国内の酒類市場は縮小している。 消費者嗜好が多様化により焼酎や、酎ハイ、ワインなど、他酒類との競争が激化している。 平成16年度から減少し続ける出荷数量等の影響により、全45酒造所のうち経営が厳しい酒造所(営業赤字)が6割超の30社となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 酒造組合全員が泡盛の本質的な価値や理念を自ら定義し、泡盛のブランディングを行った上で戦略的なマーケティングを行う必要がある。 多様化する消費者嗜好に対応したターゲットごとの商品開発、販売促進、情報発信の取り組みを強化していくことが必要。 経営改善については、事業効果が表れるまで時間を要するため、経営が厳しい酒造所に対しては、経営基盤の強化が必要。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 外部専門家を活用し、泡盛の市場分析、課題整理、理念策定などを通して、泡盛のブランディングとマーケティング戦略を策定する。 泡盛製造事業者が実施する商品開発等マーケティング強化に係る取り組みに対して支援を行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 用途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、本事業及び委託業務の目的に照らして、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であった。 ○前年度の実績や事業内容等を参考に設定しており、受益者との負担関係は妥当であった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

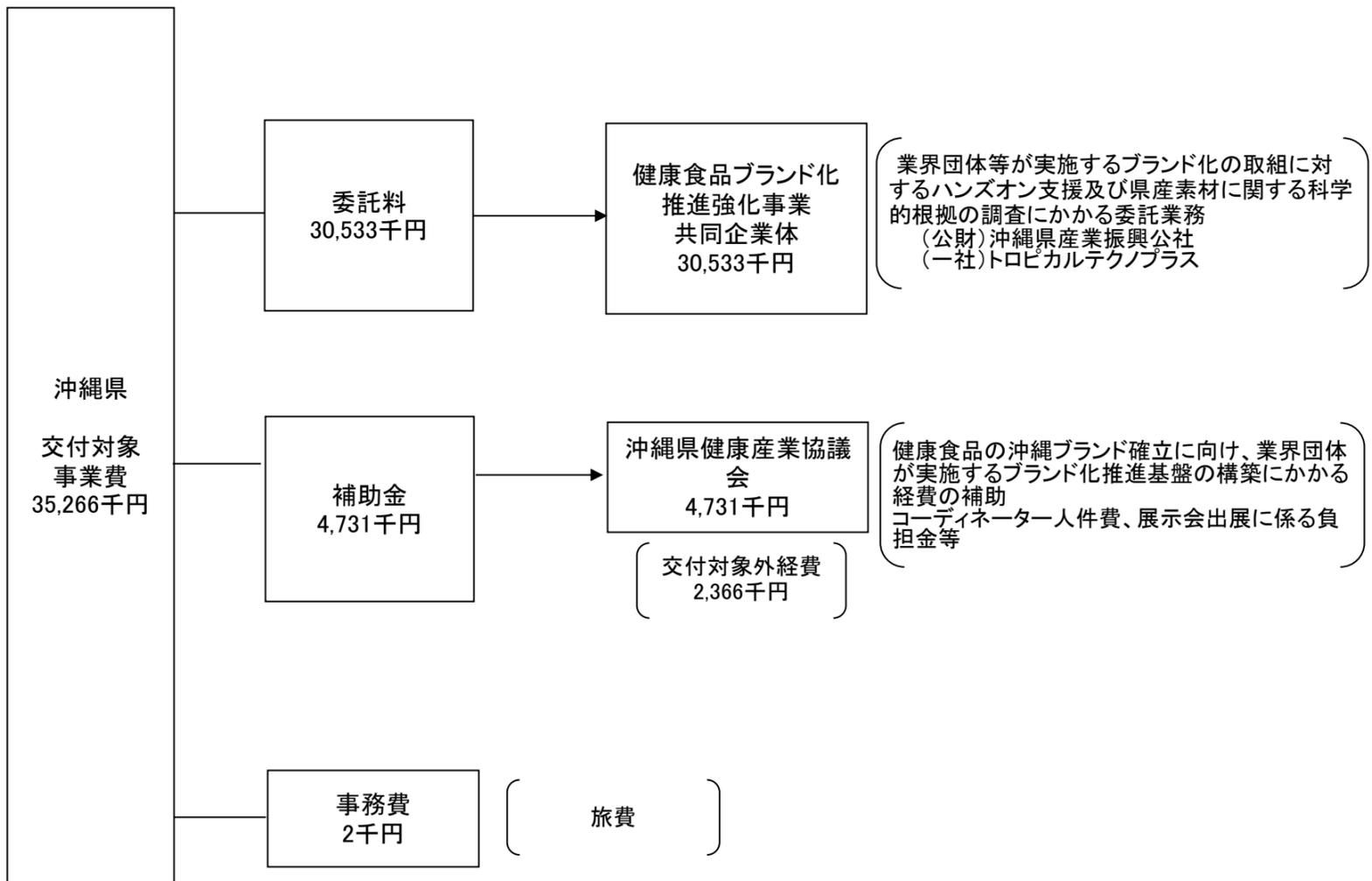
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	130	健康食品ブランド化推進強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ			
担当部課名	商工労働部ものづくり振興課	事業実施(予定)年度	H28 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの作成 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	健康食品の沖縄ブランドを確立・強化し、他地域との差別化により販路拡大を図るため、業界団体と支援機関で構築したブランド化推進体制の自立的運用に向けた取組の強化・支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和3年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	47,729		53,747		37,500
		(b) 予算現額	47,729		53,747		37,500
		(c) 増減額(b-a)	0		0		0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	47,729		53,747		37,500
	B. 執行済額		44,330		51,958		35,266
	うち交付金充当額		35,464		41,566		28,213
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		92.9%		96.7%		94.0%
予算の状況の説明		・県産健康食品のブランド化確立のため、R1年度からの新規事業(H28~30年で実施した健康食品ブランド化推進基盤構築事業の後継事業)として、業界団体が実施するブランド化に向けた取組の強化・支援に要する経費として委託料、補助金を計上した。 ・執行率は94.0%であり、不用の主な理由は、補助金の確定減(1,269千円)、委託料の確定減(863千円)によるものである。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R2活動目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	業界団体のブランド化取組への支援	目標		実施	実施	実施	
		実績		実施	実施	実施	
	県産機能性素材の調査の実施	目標			実施	実施	
		実績			実施	実施	
進捗状況説明	・平成30年度に開始した業界団体のブランド認証制度の自走化に向け、業界団体に対する補助及び企業等に対するハンズオン支援(委託)を行った。 ・企業の商品の認証基準となる県産機能性素材のエビデンス調査を行い、科学的根拠を示すシステムティックレビューを2件作成した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R2成果目標(指標)		基準値(H28年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	業界団体のブランド認証商品数	目標		5件	5件	5件	
		実績		14件	7件	4件	
	【R3成果目標】業界団体のブランド認証商品数(累計)		目標				30件
	【R3成果目標】認証商品の売上前後比		目標				30%増
	達成状況説明	・ブランド認証審査会を1回開催し、4社4商品が認証された。(ブランド認証商品数の現時点での累計は13社23商品。H30年度に認証された2件については、倒産により登録を取消している。) ・ブランド認証商品数5件の成果目標を達成できなかった理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響により企業が申請のための商品開発や準備等に取り組めなかったことによるものと考えられる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄の生物資源を生かした付加価値の高い商品化に向け取り組んでいるが、健康食品の有効性について科学的根拠に基づき立証することや販売戦略としての商品のストーリー性等を検討するためには、専門知識を有する専門家によるハンズオン支援を継続して実施する必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、認証商品の売り上げの減少や商談機会の喪失が懸念される。 	<p>専門家によるハンズオン支援を行い高付加価値の商品化を促進するとともに業界団体と企業が連携して認証制度自体の認知度向上に取り組む必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>ブランドの認知度向上には時間がかかるため、業界団体と企業が連携し、認証制度の認知度向上に向けた取り組みを継続して行う必要がある。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
37,632	35,266	28,213	7,053	0	0	2,366



資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はH29年度に公募型プロポーザル方式により選定している。R2年度は評価委員会によりR1実績とR2計画を審査し継続を決定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○受益者である補助事業者は総事業費の1/3を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	